

コロナ禍で  
問われる  
社会のあり方

# 町民の命・健康・くらし第一の政治へ

6月定例会前の議会運営委員会が28日開かれ、日程、提出議案などが確認されました。今回の議会は町独自対策第3弾の補正予算が審議されます。大学生の経済支援650万円だけが同委員会で明らかにされ、町は、他の対策は2日の全員協議会で説明し、最終日に提案する予定。であれば、なおさら委員会付託が相応しいとの結論になりました。

一般質問は4日 大町、丸山、建部の各議員の順)、5日 由田充、岡田、山田裕康、西澤の各議員の順)。西澤議員の一般質問主旨を紹介します。

## 新型コロナウイルス感染拡大に伴う各種の影響および

### 町の対応について

- かつて私たちが経験したことのない感染症の広がり、いちと健康に対する危機の中、政治・行政・社会の基本的なあり方が問われている問題として見解・対応を質すものです。
- 1、新型コロナウイルス感染拡大の影響をどのように受け止めているか。町民の暮らし・経営の特徴的な状況はどのようなものか。
  - 2、3月定例会での当初予算の付帯決議に対する認識は
  - 3、改めて、独自事業と見直し財源との関係を問う。
  - 4、5月臨時会(20日)で提案可決したコロナ対策(略称)
  - 5、見送り予算「内の公民館多目的ホール空調設備工事とコロナ対策の財源の関連性は。」
  - 6、上記交付金実施計画について、提出時期、認可の有無は。
  - 7、税・保険料等公共料金の減額、免除、徴収猶予の対応は。
  - 8、町独自施策の財源として財政調整基金・ふるさと基金・ふるさと応援基金の活用について検討が必要では。
  - 9、新型コロナウイルス感染拡大の第2波に備えて

①通常おこなっている防災無線のアンテナ改善が必須

- 要では。
- ②感染症に詳しい医師・学者等に「そもそもコロナウイルスとは」を語ってもらう講演(防災無線などで)
  - ③国・県に対する要請活動強化を。
  - 10、町職員の対応改善が求められる。この時期だからこそ町民に寄り添ったより丁寧な対応が必要では。各種の減免規定を窓口、相談、広報、チラシ等で周知しているか。
  - 11、新型コロナウイルス感染症拡大に対する初動の対応として1人当たり布マスク2枚の配布の施策の実施等の検証が今後必要になるのではないか。

★財政調整基金 3億9,343万円  
★ふるさと基金 約9,049万円  
★ふるさと応援基金 約1億384万円  
(平成30年度決算額より)

検察の独立性を脅かし、内閣の一存で特定の検察官は定年延長が認められる検察庁法改定案は究極のエコヒイキ合法化規定!

ご意見・ご要望をどうぞ。 ☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123 松元たけし 38-3875  
◎日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】

## 6月定例会の日程

- ◆2日(火) 全員協議会=議案説明など
  - ◆4日(木) 本会議=開会、提案、一部採決、一般質問
  - ◆5日(金) 本会議=一般質問
  - ◆9日(火) 議会改革特別委員会、予算決算常任委員会、→1時30分より総務民生常任委員会
  - ◆12日(金) 本会議=議案採決など、閉会
- ※総務民生常任委員会以外は全て9時開会



## 甲良民報

2020年5月31日 791号  
発行責任：日本共産党甲良町議員  
連絡：甲良町在士 373 (西澤)  
Tel : 38-4949 Fax : 38-2242